

補助事業番号 24-2-035

補助事業名 平成24年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業

補助事業者名 社団法人 日本自閉症協会

1 補助事業の概要

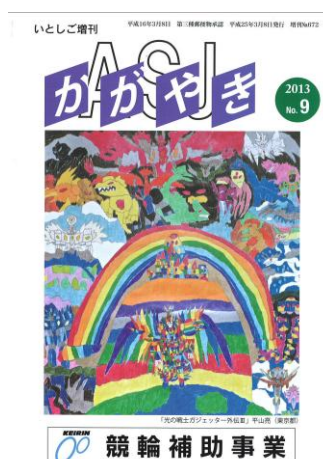
(1) 事業の目的

自閉症の概念が自閉症スペクトラムとして、知的障害を伴った自閉症から知的障害を伴わない高機能自閉症やアスペルガー症候群までの連続した障害と認識され、社会の中にもこの障害を持つ人が多く存在することがわかってきました。障害があるにもかかわらず、家族や周辺の人たちの無理解のため、適切な支援が受けられず、虐待・いじめ・不登校・ひきこりに陥る場合も多くみられます。自閉症を正しく認識・理解・支援することが、自閉症児者が暮らしやすい社会に近づくこととなり、社会的啓発活動として重要性を持つ理由です。

(2) 実施内容

①自閉症児の親のための指導誌（紙）の発行

年1回指導誌「かがやき」を発行し、療育等に関する情報を当事者の家族、療育に携わる指導者、学校教職員、施設職員、支援者、療育・相談機関の関係者等へ向けて、情報提供を図ります。また自閉症に関係する行政機関の動き、当事者及びその家族の体験談、自閉症協会の活動内容等の情報提供、ならびに当事者の家族の交流を深める環境を作る会報「いとご」を年6回発行します。



②自閉症児対策の無料検診（治療教育相談）

前半は自閉症に詳しい講師による当事者支援についての研修会、後半が個別相談会というのが基本的な構成として治療教育相談会を開催します。また当事者や家族の生きづらさを軽減するため、研修会の参加者から集めた質問に回答する機会である全体会を設けます。



③自閉症児と保護者の相互理解と将来への指針（集団指導キャンプ（1泊2日））

1泊2日を基本とし、実際の集団生活を通じた体験活動を行います。1日目、集合場所から貸切バス等で移動し、集団生活に慣れてもらう活動を行います。1日目の夜には親に対する研修会を実施します。2日目、朝食後宿泊地を出発し、1日目に引き続き、集団生活に慣れてもらう活動を行います。



2 予想される事業実施効果

①自閉症児の親のための指導誌（紙）の発行

自閉症に関する情報は、最近の障害の概念そのものが広がるなどの状況の変化の中で、医療の専門家の間でも、正しい情報が行き渡っていない状況にあります。そのような中で、当事者、その家族、現場の療育関係機関スタッフ等に自閉症スペクトラムに関する正しい情報を提供していくことの必要性が今まで以上に求められています。自閉症に関する全国的な指導誌（紙）を発行して、その中で、自閉症の障害と障害特性、さらにその特性に配慮した援助の方法等について正しい情報を伝えることができます。

②自閉症児対策の無料検診（治療教育相談）

家族ならびに当事者は、自閉症の特性について必ずしも十分理解していない場合があります。そのことで、社会的に孤立をしている例も多く、自閉症スペクトラムの理解を十分している医師を初めとする専門家による診断・相談・カウンセリング・具体的な治療・教育に対する指導・提言などが必要とされています。

③自閉症児と保護者の相互理解と将来への指針（集団指導キャンプ（1泊2日）

保護者及び当事者が、専門家による直接的な療育、教育、生活等の指導を受けながら、家族同士の情報交換の場としての機会を持つことができます。また、コミュニケーションを苦手とする当事者も、キャンプを通して、色々な人とコミュニケーションをとる実践の場を経験する事により、将来に向けての自立の第一歩となる様、集団を活用して訓練を行います。

3 本事業により作成した印刷物等

会報「いとご」No. 134～No. 139 各18,000部

指導誌「かがやき」No. 9 18,000部

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人日本自閉症協会（ニホンジヘイショウキョウカイ）

住所： 〒104-0044 東京都中央区明石町6-22 築地622 6階

代表者： 会長 山崎晃資（ヤマザキコウスケ）

担当部署： 日本自閉症協会事務局（ニホンジヘイショウキョウカイジムキョク）

担当者名： 関水亮平（セキミズリョウヘイ）

電話番号： 03—3545—3380

F A X： 03—3545—3381

E - m a i l： asj@autism.or.jp

U R L： <http://www.autism.or.jp/>